

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成22年4月13日
【四半期会計期間】	第41期第2四半期（自平成21年12月1日至平成22年2月28日）
【会社名】	株式会社コシダカ
【英訳名】	KOSHIDAKA Co., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 腰高 博
【本店の所在の場所】	群馬県前橋市大友町1丁目5番地1
【電話番号】	027-280-3381（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長兼経理部長 酒井 幹雄
【最寄りの連絡場所】	群馬県前橋市大友町1丁目5番地1
【電話番号】	027-280-3381（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長兼経理部長 酒井 幹雄
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜1丁目8番16号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第40期 第2四半期連結 累計期間	第41期 第2四半期連結 累計期間	第40期 第2四半期連結 会計期間	第41期 第2四半期連結 会計期間	第40期
会計期間	自平成20年 9月1日 至平成21年 2月28日	自平成21年 9月1日 至平成22年 2月28日	自平成20年 12月1日 至平成21年 2月28日	自平成21年 12月1日 至平成22年 2月28日	自平成20年 9月1日 至平成21年 8月31日
売上高(千円)	8,695,781	10,658,113	5,366,328	5,901,904	18,955,130
経常利益(千円)	433,506	1,363,365	646,274	1,113,246	1,427,855
四半期(当期)純利益(千円)	165,914	661,845	434,837	592,849	549,836
純資産額(千円)	-	-	2,341,101	3,336,989	2,699,267
総資産額(千円)	-	-	9,773,057	11,038,512	10,514,927
1株当たり純資産額(円)	-	-	97,545.89	137,297.09	111,644.56
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	6,913.09	27,576.89	18,118.24	24,702.05	22,909.84
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-	-	-
自己資本比率(%)	-	-	23.9	29.9	25.5
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,035,757	1,629,012	-	-	3,126,815
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	2,748,369	906,628	-	-	3,736,516
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	2,566,161	464,935	-	-	2,169,289
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	-	-	1,627,532	2,584,990	2,327,724
従業員数(人)	-	-	606	622	618

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 3【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成22年2月28日現在

従業員数（人）	622 (1,390)
---------	-------------

（注）従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は、1日8時間換算による当第2四半期連結会計期間の平均人員を（ ）外数で記載しております。

### (2) 提出会社の状況

平成22年2月28日現在

従業員数（人）	438 (1,368)
---------	-------------

（注）従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は、1日8時間換算による当第2四半期会計期間の平均人員を（ ）外数で記載しております。

## 第2【事業の状況】

### 1【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産、受注の状況

当社は、生産、受注活動は行っていないため該当事項はありません。

#### (2) 販売実績

当第2四半期連結会計期間の販売実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)	前年同四半期比(%)
カラオケ事業(千円)	4,659,079	105.1
カーブス事業(千円)(注)1	1,242,824	132.9
合計(千円)	5,901,904	110.0

(注)1. カーブスとは、新形態の米国で開発された女性専用30分フィットネスクラブであります。当社グループにおけるカーブス事業とは、フィットネスフランチャイズの運営及びフィットネスクラブ店舗の運営であります。

2. セグメント間の取引については相殺消去しております。

3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

### 2【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

#### 4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

##### (1) 業績の状況

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、輸出の回復が持続するなどのプラス要因により、更なる景気悪化は回避されるものの、回復の道筋をつけるには至っておらず、個人消費の低迷も続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループ（当社及び連結子会社）の当第2四半期連結会計期間における売上高は59億1百万円（前年同四半期比10.0%増）、営業利益は11億9百万円（前年同四半期比50.1%増）、経常利益は11億13百万円（前年同四半期比72.3%増）、四半期純利益は5億92百万円（前年同四半期比36.3%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次の通りであります。

##### カラオケ事業

カラオケボックス業界は、娯楽産業全体の伸び悩みと消費者の娯楽ニーズの多様化により経営環境は厳しさを増しつつあり、中堅チェーンや小規模カラオケ店の廃業・閉店が続く一方で、新規参入も行われており競合の激しさは増しております。

こうした経済情勢と事業環境の中で、従来からの「居抜き出店方式」による出店と「建築出店方式」による出店を組み合わせ、「カラオケ本舗まねきねこ」の店舗網の拡充を図っております。店舗の標準化・効率化・投資額抑制を追求するための「建築出店方式」の質的向上と「建築出店方式」による出店で得た様々なノウハウを活用した設備・営業の両面での既存店リニューアルも積極的にを行い、チェーン全体のブラッシュアップを推進しております。また、閑散月である2月は期間限定で「感激！元気かんげん（還元）フェア」を行い、集客に努めました。これらの施策により、既存店の客数と売上高は前年水準を維持することができ、堅調に推移してまいりました。

当第2四半期連結会計期間において、1店舗の開設（居抜き出店）及び11店舗のリニューアルを行いました。この結果期末時点の店舗数は、「カラオケ本舗まねきねこ」が295店舗、都市型新業態店舗を加えた全体では297店舗となりました。

以上により、当第2四半期連結会計期間におけるカラオケ事業の売上高は46億59百万円（前年同四半期比5.1%増）、営業利益は10億18百万円（前年同四半期比42.1%増）となりました。

##### カーブス事業

カーブス事業は、F C本部（株式会社カーブスジャパン）としてF C加盟事業者の新規開拓と多店舗展開支援、既存加盟店の業績向上のための会員増強プログラムの導入と会員増強運動の支援、顧客満足度向上のための店舗スタッフの集合研修などを行うと共に、F C加盟事業者（株式会社北海道コシダカ）として個別店舗の運営と新規出店に取り組んでおります。

当第2四半期連結会計期間において、加盟店舗数は9店舗増加し期末時点では785店舗となりました。また加盟会員数は277千人となりました。

以上により、当第2四半期連結会計期間におけるカーブス事業の売上高は12億42百万円（前年同四半期比32.9%増）、営業利益は91百万円（前年同四半期比292.6%増）となりました。

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べて5億23百万円増加し110億38百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6億52百万円増加し43億69百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の5億67百万円の増加などによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1億28百万円減少し66億68百万円となりました。主な要因は、建物及び構築物の1億16百万円の増加及びのれんの償却による1億50百万円の減少などによるものです。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて94百万円増加し46億93百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の1億42百万円の増加及び1年以内返済予定長期借入金66百万円の減少などによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2億9百万円減少し30億8百万円となりました。主な要因は、長期借入金の1億95百万円の減少などによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて6億37百万円増加し33億36百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の6億16百万円の増加などによるものです。

##### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、第1四半期連結会計期間末と比較して6億73百万円増加して25億84百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結会計期間における営業活動の結果獲得した資金は17億78百万円（前年同四半期比7億13百万円の増加）となりました。税金等調整前四半期純利益10億78百万円、減価償却費3億42百万円及びのれん償却額75百万円などによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結会計期間における投資活動の結果使用した資金は5億54百万円（前年同四半期比2億97百万円の増加）となりました。有形固定資産の取得による支出4億50百万円及び定期預金の預入による支出92百万円などによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結会計期間における財務活動の結果使用した資金は5億50百万円（前年同四半期比3億22百万円の増加）となりました。長期借入れによる収入1億円、短期借入金の返済2億3百万円、及び長期借入金の返済による支出3億13百万円などによるものです。

（3）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（4）研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

第1四半期連結会計期間末において、重要な設備の新設、除却等の計画はありません。また、当第2四半期連結会計期間においても、新たに確定した重要な設備の新設、除却等はありません。

## 第4【提出会社の状況】

### 1【株式等の状況】

#### (1)【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	96,000
計	96,000

##### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成22年2月28日)	提出日現在発行数(株) (平成22年4月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	24,000	24,000	大阪証券取引所 (JASDAQ市場)	当社は、単元株制度を採用していません。
計	24,000	24,000	-	-

- (注) 1. 普通株式は完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。  
2. 第2四半期会計期間末現在の上場金融商品取引所は、ジャスダック証券取引所であります。なお、ジャスダック証券取引所は、平成22年4月1日付で大阪証券取引所と合併しておりますので、同日以降の上場金融商品取引所は、大阪証券取引所であります。

#### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成21年12月1日～ 平成22年2月28日	-	24,000	-	493,600	-	483,600



(5) 【大株主の状況】

平成22年2月28日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
株式会社ヨウザン	群馬県前橋市平和町1丁目4-10	6,000	25.00
腰高 博	群馬県前橋市	5,900	24.58
腰高 修	群馬県前橋市	3,970	16.54
コシダカ社員持株会	群馬県前橋市大友町1丁目5-1	661	2.75
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	450	1.87
腰高 美和子	群馬県前橋市	300	1.25
腰高 綾	群馬県前橋市	300	1.25
腰高 理志	群馬県前橋市	300	1.25
腰高 知己	群馬県前橋市	300	1.25
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町1丁目2-10	271	1.12
計	-	18,452	76.88

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成22年2月28日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 24,000	24,000	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	24,000	-	-
総株主の議決権	-	24,000	-

【自己株式等】

平成22年2月28日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
-	-	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年9月	10月	11月	12月	平成22年1月	2月
最高(円)	153,000	205,000	210,500	185,000	195,500	233,000
最低(円)	145,000	140,100	150,500	165,700	181,200	188,000

(注) 1. 最高・最低株価は、ジャスダック証券取引所におけるものであります。

2. なお、ジャスダック証券取引所は、平成22年4月1日付けで大阪証券取引所と合併しておりますので、同日以降の上場金融商品取引所は、大阪証券取引所であります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の異動はありません。

## 第5【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期連結会計期間（平成20年12月1日から平成21年2月28日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成20年9月1日から平成21年2月28日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第2四半期連結会計期間（平成21年12月1日から平成22年2月28日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成21年9月1日から平成22年2月28日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間（平成20年12月1日から平成21年2月28日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成20年9月1日から平成21年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第2四半期連結会計期間（平成21年12月1日から平成22年2月28日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成21年9月1日から平成22年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,098,070	2,530,395
受取手形及び売掛金	356,296	347,884
商品	183,519	161,949
原材料及び貯蔵品	110,607	96,820
その他	625,547	585,047
貸倒引当金	4,264	4,750
流動資産合計	4,369,776	3,717,348
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,391,177	2,274,316
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	1,156,580	1,275,021
土地	526,329	503,816
リース資産(純額)	97,728	110,247
建設仮勘定	9,660	-
有形固定資産合計	4,181,475	4,163,401
無形固定資産		
のれん	1,132,313	1,283,288
ソフトウェア	205,806	229,668
その他	4,065	4,065
無形固定資産合計	1,342,185	1,517,022
投資その他の資産		
敷金及び保証金	822,884	814,503
その他	329,068	305,350
貸倒引当金	6,876	2,700
投資その他の資産合計	1,145,075	1,117,154
固定資産合計	6,668,736	6,797,579
資産合計	11,038,512	10,514,927
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	351,069	366,008
短期借入金	169,600	168,000
1年内返済予定の長期借入金	1,112,590	1,178,736
リース債務	26,288	26,288
未払法人税等	644,301	501,750
賞与引当金	158,073	136,222
預り金	805,610	798,079
その他	1,425,896	1,423,375
流動負債合計	4,693,430	4,598,461
固定負債		
長期借入金	2,908,928	3,104,390
リース債務	76,326	89,470
その他	22,838	23,337
固定負債合計	3,008,092	3,217,198
負債合計	7,701,523	7,815,660

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	493,600	493,600
資本剰余金	483,600	483,600
利益剰余金	2,318,850	1,702,604
株主資本合計	3,296,050	2,679,804
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	920	335
評価・換算差額等合計	920	335
少数株主持分	41,859	19,797
純資産合計	3,336,989	2,699,267
負債純資産合計	11,038,512	10,514,927

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年2月28日)
売上高	1 8,695,781	10,658,113
売上原価	6,803,633	7,456,558
売上総利益	1,892,148	3,201,554
販売費及び一般管理費	2 1,363,245	1,839,769
営業利益	528,902	1,361,785
営業外収益		
受取利息	1,543	975
受取配当金	46	37
協賛金収入	15,271	13,444
その他	22,605	23,262
営業外収益合計	39,467	37,719
営業外費用		
支払利息	28,406	24,391
支払手数料	79,000	-
その他	27,456	11,747
営業外費用合計	134,863	36,139
経常利益	433,506	1,363,365
特別利益		
固定資産売却益	16	1,322
特別利益合計	16	1,322
特別損失		
固定資産売却損	-	199
固定資産除却損	-	68,031
減損損失	58,738	2,503
その他	10,559	-
特別損失合計	69,298	70,734
税金等調整前四半期純利益	364,225	1,293,954
法人税、住民税及び事業税	216,759	620,815
法人税等調整額	18,754	10,767
法人税等合計	198,005	610,047
少数株主利益	305	22,061
四半期純利益	165,914	661,845

## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)
売上高	5,366,328	5,901,904
売上原価	3,760,953	3,852,337
売上総利益	1,605,374	2,049,566
販売費及び一般管理費	865,701	939,631
営業利益	739,673	1,109,935
営業外収益		
受取利息	1,341	765
受取配当金	39	33
協賛金収入	5,028	3,676
為替差益	5,175	-
その他	12,129	13,929
営業外収益合計	23,713	18,404
営業外費用		
支払利息	16,082	11,799
支払手数料	79,000	-
その他	22,029	3,293
営業外費用合計	117,112	15,093
経常利益	646,274	1,113,246
特別利益		
固定資産売却益	-	537
特別利益合計	-	537
特別損失		
固定資産売却損	-	131
固定資産除却損	3,307	35,063
減損損失	12,546	-
特別損失合計	15,854	35,195
税金等調整前四半期純利益	630,420	1,078,587
法人税、住民税及び事業税	207,137	524,340
法人税等調整額	11,860	49,528
法人税等合計	195,277	474,812
少数株主利益	305	10,926
四半期純利益	434,837	592,849

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	364,225	1,293,954
減価償却費	669,874	657,830
減損損失	58,738	2,503
のれん償却額	75,487	150,975
賞与引当金の増減額(は減少)	41,896	21,851
貸倒引当金の増減額(は減少)	5,174	3,690
受取利息及び受取配当金	1,590	1,003
支払利息	28,406	24,391
有形固定資産売却損益(は益)	16	1,123
売上債権の増減額(は増加)	29,648	8,411
たな卸資産の増減額(は増加)	12,891	35,355
仕入債務の増減額(は減少)	35,585	14,939
その他	108,307	57,441
小計	1,347,108	2,151,804
利息及び配当金の受取額	1,575	951
利息の支払額	29,220	21,242
法人税等の支払額	283,705	502,501
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,035,757	1,629,012
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	1,145,770	642,481
有形固定資産の売却による収入	200	1,380
無形固定資産の取得による支出	33,438	12,098
子会社株式の取得による支出	1,737,454	-
敷金及び保証金の差入による支出	69,255	28,285
敷金及び保証金の回収による収入	2,957	12,420
貸付けによる支出	63,211	55,188
貸付金の回収による収入	3,846	5,051
定期預金の増減額(は増加)	295,821	184,225
その他	2,063	3,200
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,748,369	906,628
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	24,000	1,600
長期借入れによる収入	3,350,000	389,000
長期借入金の返済による支出	548,043	650,608
リース債務の返済による支出	-	13,144
配当金の支払額	86,400	45,600
担保提供預金の増減額(は増加)	153,395	126,183
その他	20,000	20,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,566,161	464,935
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,794	182
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	859,344	257,265
現金及び現金同等物の期首残高	768,187	2,327,724
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,627,532	2,584,990



【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

該当事項はありません。

【表示方法の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年2月28日)
(四半期連結損益計算書) 前第2四半期連結累計期間において、特別損失の「その他」に含めて表示しておりました「固定資産除却損」は、特別損失総額の100分の20を超えたため、当第2四半期連結累計期間では区分掲記することとしました。なお、前第2四半期連結累計期間の特別損失の「その他」に含まれる「固定資産除却損」は3,307千円であります。

【簡便な会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年2月28日)
1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法	当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。
2. 法人税等の算定方法	法人税等の算定方法は、課税所得の計算における加減算項目及び税額控除項目を、重要なものに限定する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成22年2月28日)	前連結会計年度末 (平成21年8月31日)
有形固定資産の減価償却累計額は、4,299,875千円であります。	有形固定資産の減価償却累計額は、3,866,968千円であります。

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年2月28日)												
1 当社の売上高は、著しい季節的な変動があり、忘年会シーズンを含む第2四半期連結会計期間、ゴールデンウィークを含む第3四半期連結会計期間、及び帰省盆休みシーズンを含む第4四半期連結会計期間と比較して、第1四半期連結会計期間の売上高は低水準となる傾向があります。													
2 販売費及び一般管理費の主なもの	販売費及び一般管理費の主なもの												
<table border="0"> <tr> <td>給与</td> <td>376,044千円</td> </tr> <tr> <td>支払報酬</td> <td>102,191千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>56,884千円</td> </tr> </table>	給与	376,044千円	支払報酬	102,191千円	賞与引当金繰入額	56,884千円	<table border="0"> <tr> <td>給与</td> <td>580,747千円</td> </tr> <tr> <td>のれん償却額</td> <td>150,975千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>78,188千円</td> </tr> </table>	給与	580,747千円	のれん償却額	150,975千円	賞与引当金繰入額	78,188千円
給与	376,044千円												
支払報酬	102,191千円												
賞与引当金繰入額	56,884千円												
給与	580,747千円												
のれん償却額	150,975千円												
賞与引当金繰入額	78,188千円												

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)												
1 販売費及び一般管理費の主なもの	販売費及び一般管理費の主なもの												
<table border="0"> <tr> <td>給与</td> <td>242,425千円</td> </tr> <tr> <td>のれん償却額</td> <td>75,487千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>45,500千円</td> </tr> </table>	給与	242,425千円	のれん償却額	75,487千円	賞与引当金繰入額	45,500千円	<table border="0"> <tr> <td>給与</td> <td>288,245千円</td> </tr> <tr> <td>のれん償却額</td> <td>75,487千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>48,083千円</td> </tr> </table>	給与	288,245千円	のれん償却額	75,487千円	賞与引当金繰入額	48,083千円
給与	242,425千円												
のれん償却額	75,487千円												
賞与引当金繰入額	45,500千円												
給与	288,245千円												
のれん償却額	75,487千円												
賞与引当金繰入額	48,083千円												

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年2月28日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借 対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年2月28日現在)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借 対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年2月28日現在)
現金及び預金勘定 1,830,992千円	現金及び預金勘定 3,098,070千円
担保に供している普通預金 153,395千円	担保に供している普通預金 274,484千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金 50,064千円	預入期間が3ヶ月を超える定期預金 238,596千円
現金及び現金同等物 1,627,532千円	現金及び現金同等物 2,584,990千円

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成22年2月28日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年9月1日 至平成22年2月28日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 24,000株

2. 自己株式の種類及び株式数

該当事項はありません。

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年11月26日 定時株主総会	普通株式	45,600	1,900	平成21年8月31日	平成21年11月27日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年4月9日 取締役会	普通株式	69,600	2,900	平成22年2月28日	平成22年5月10日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年12月1日 至平成21年2月28日)

	カラオケ事業 (千円)	カーブス事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	4,431,188	935,140	5,366,328	-	5,366,328
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	(-)	-
計	4,431,188	935,140	5,366,328	(-)	5,366,328
営業利益	716,268	23,404	739,673	(-)	739,673

当第2四半期連結会計期間(自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)

	カラオケ事業 (千円)	カーブス事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	4,659,079	1,242,824	5,901,904	-	5,901,904
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	31	31	(31)	-
計	4,659,079	1,242,855	5,901,935	(31)	5,901,904
営業利益	1,018,036	91,898	1,109,935	(-)	1,109,935

前第2四半期連結累計期間(自平成20年9月1日至平成21年2月28日)

	カラオケ事業 (千円)	カーブス事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	7,714,961	980,819	8,695,781	-	8,695,781
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	(-)	-
計	7,714,961	980,819	8,695,781	(-)	8,695,781
営業利益	503,896	25,006	528,902	(-)	528,902

当第2四半期連結累計期間(自平成21年9月1日至平成22年2月28日)

	カラオケ事業 (千円)	カーブス事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	8,227,313	2,430,799	10,658,113	-	10,658,113
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	89	89	(89)	-
計	8,227,313	2,430,888	10,658,202	(89)	10,658,113
営業利益	1,147,138	214,647	1,361,785	(-)	1,361,785

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主要な商品又は役務の名称

事業区分	主要商品又は役務の名称
カラオケ事業	カラオケボックス店舗の運営
カーブス事業	フィットネスフランチャイズの運営 フィットネスクラブ店舗の運営

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間（自平成20年12月1日 至平成21年2月28日）及び当第2四半期連結会計期間（自平成21年12月1日 至平成22年2月28日）並びに前第2四半期連結累計期間（自平成20年9月1日 至平成21年2月28日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年9月1日 至平成22年2月28日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間（自平成20年12月1日 至平成21年2月28日）及び当第2四半期連結会計期間（自平成21年12月1日 至平成22年2月28日）並びに前第2四半期連結累計期間（自平成20年9月1日 至平成21年2月28日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年9月1日 至平成22年2月28日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

（有価証券関係）

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

（デリバティブ取引関係）

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

（ストック・オプション等関係）

当第2四半期連結会計期間（自平成21年12月1日 至平成22年2月28日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成22年2月28日)	前連結会計年度末 (平成21年8月31日)
1株当たり純資産額 137,297.09円	1株当たり純資産額 111,644.56円

2. 1株当たり四半期純利益金額

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年2月28日)
1株当たり四半期純利益金額 6,913.09円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 27,576.89円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年2月28日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(千円)	165,914	661,845
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	165,914	661,845
期中平均株式数(千株)	24	24

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)
1株当たり四半期純利益金額 18,118.24円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 24,702.05円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(千円)	434,837	592,849
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	434,837	592,849
期中平均株式数(千株)	24	24

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年8月31日以前のものについては通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を適用しておりますが、当第2四半期連結会計期間末におけるリース取引残高は前連結会計年度末に比べ著しい変動が認められないため、記載しておりません。

## 2【その他】

平成22年4月9日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額・・・・・・・・・・69,600千円

(ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・2,900円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・・平成22年5月10日

(注) 平成22年2月28日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行います。



## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年4月10日

株式会社コシダカ  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 山本 禎良 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 鈴木 正明 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小出 検次 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社コシダカの平成20年9月1日から平成21年8月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成20年12月1日から平成21年2月28日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成20年9月1日から平成21年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社コシダカ及び連結子会社の平成21年2月28日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1 . 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2 . 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年4月13日

株式会社コシダカ  
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 鈴木 正明 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小出 検次 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社コシダカの平成21年9月1日から平成22年8月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成21年12月1日から平成22年2月28日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成21年9月1日から平成22年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社コシダカ及び連結子会社の平成22年2月28日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。